

わ・う・え・ん・だ・よ・り



薩摩川内市より敬老祝い ～新88歳と100歳以上の方々へ～

ごあいさつ

施設長 柿元 美津江

紅葉がきれいな季節となりました。皆様方ががお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの脅威と戦わなければならない日々が続いており、和光園でも入所者様と職員一丸となり感染予防に努めております。ご家族の皆様にもこの一年、ご理解とご協力を賜り誠に感謝申し上げます。

そんな中、敬老会や秋祭り、園の入所者様と職員で過ごさせていただきました。秋祭りでは初めて鹿児島県でパフォーマンスとして活躍の「カイト」さんをお招きし、飛び切り凄いジャグリングや水晶玉や光のパフォーマンスをしていただきました。入所者の皆様も目をキラキラさせて楽しんでいらっしゃいました。今回の園だよりでは、その時のご様子をはじめ、様々な生活場面のご紹介をさせていただきます。どうぞご覧になってください。

私共職員一同、入所者様の穏やかな生活をお支えするよう努めてまいります。家族様や関係者の皆様の暖かな見守り、又、励ましのお便り等楽しみにされております。ご無理をされない範囲でお届けいただければ幸いです。

来年は、希望に満ちた素晴らしい年になることを信じ、皆様のご健康とご多幸をお祈り申しあげます。



敬老 祝賀会





9月11日(金)当園集会室にて『敬老祝賀会』が開催されました。はじめに銚之原理事長の挨拶、薩摩川内市長の祝辞に続き、市からの記念品(対象者4名)、ならびに和光園からの記念品(代表者へ全員分)贈呈があり、最後に代表として森徳次様がお礼の言葉を堂々と述べられました。ご祝儀舞のあとは、ご家族様から入所者様への御祝いのメッセージが朗読され、皆様耳を傾けてじっと聞き入っておられました。

演芸では、昔話の「桃太郎」が面白おかしく演じられ、盛んに拍手が送られました。最後に、出演者ほか施設長、来賓の方々と入所者様一体となってハンヤ節を踊り、会場全体大変な盛り上がりで、無事に幕を閉じることができました。

閉会後は、豪華な長寿弁当をいただかれ、長寿の慶びをゆっくりとかみしめるように味わっておられました。

今回は、コロナウィルス感染防止の観点から、入所者様と職員のみでの開催となりましたが、大変喜んでいただけた「敬老祝賀会」になりましたことと、ご家族の皆様のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。











前園フミ子様 薩摩川内市より満100歳の御祝がありました。



カイト
K@ITO さん
(パフォーマンスアーティスト)

第3回 『秋祭り』



ワクワク
ドキドキ



ドキドキ
ワクワク



平成三十一年から始まった「秋祭り」も今年で三回目を迎えました。今回はコロナウィルス感染防止のため、規模を縮小し、園内で入所者様と職員のみで開催しました。

まず昼食は、秋の味覚を味わって頂こうと

「松茸ご飯」か、「栗ご飯」のどちらか

お好きな方を選んでいただき、園内で

入所者様が育てたさつまい芋を使った「芋汁」

や「サンマの塩焼き」といった料理に皆様

「こりやたらまん」と舌鼓を打っておられました。



演芸の部では、鹿児島県を中心に県外や海外でも活動をされているパフォーマーの『カイトさん』をお招きしました。普段めつたに見ることのできないパフォーマーの数々を目のあたりにし、皆さん衝撃をうけるやら、びっくりするやら、更にウィットに富んだトークを交えてのプロの妙技に時間がたつのも忘れ、まさに異次元の世界に浸り、演技中は笑いと拍手が絶えることはありませんでした。

大抽選会では三種類の抽選が行なわれ、豪華賞品を目の前に、当選者が発表されるたびに、悲鳴と歓声が飛び交い、会場は興奮のつぼと化しました。

今後も感染症対策に万全の注意を払いながら入所者様に満足していただける秋祭りを企画していきたいと思えます。

♪♪ 抽選会で見事当選されました ♪♪ (一部掲載)



誕生会・職員演芸

毎月開催される誕生会
は、おもしろいご馳走と誕生
者へのプレゼントの他に、
職員が知恵をしぼっての
演芸もみものになってい
ます。音楽を楽しんだり、
腹をかかえて笑ったりさ
れる入所者様を見ると、今
後も、皆様の思い出に残る
誕生会にしていきたいと
思います。



11月 花街の母



10月 ブルース?ベリー



8月 サマーコンサート



八月に完成したばかりの
『甕大橋』を現地撮影し、
甕島の紹介ビデオと一緒に
見ていただきました。皆さ
ん大変喜ばれました。

クツキング

食事をすることは、入所者様にとって一番大きな関心事です。
通常の食事のほかに、医師や看護師、栄養士に相談と協力を得な
がら、入所者様の目の前で調理した様々な料理をできたてで提供
し、楽しんでいただく取り組みを継続しています。
今回は、かき氷、しろくま、鶏飯などを調理しましたが、入所
者様も参加しての焼き芋とパン作りを初めて挑戦されました。
自主的に参加されることで連帯感が強まり、園での生活に生き
がいと潤いをもたらすのではと期待しています。





アフターコロナ
After Corona

ウィズコロナ
With Corona

ビフォーコロナ
Before Corona

コロナウイルスの感染者数は、全国で十四万人を超え、その猛威はとどまるところを知りません。私達は決して気をゆるめることなく、今まで同様手洗い、うがい、消毒、換気、三密を避けるといった基本的なことをきちんと守ることはもちろん、規則正しい生活と、栄養、休養、睡眠を充分に摂ることが大切です。

ウイルス感染を防ぎ、かつ、世の中の変化に対応できる体力と自己管理能力が必要とされています。その一方で、新しい世の中に対応し、新しい価値を見出していくことも必要です。和光園でもできることから少しずつ取り組んでいきたいと思えます。



吐物処理の研修



9月お彼岸供養



8月お盆供養



「フラワーアレンジメント」



10月「さつま芋収穫」



「期日前投票（市議選挙）」



11月「たまねぎ苗植え」



天気の良い日には 屋外散歩

新規入所者様のご紹介



前園 文博 様
 昭和二十八年七月十三日生
 樋脇町出身
 十月三十一日(入所)
 好きな食べ物 焼き肉



鶴園 耕造 様
 昭和二十四年二月十八日生
 高江町出身
 十月一日(入所)
 好きな食べ物 かつ丼



柳川 シマエ 様
 昭和八年七月十三日生
 寄田町出身
 九月二十六日(入所)
 好きな食べ物 バナナ

入所者様の作品



末永忠夫様『手作りしめ縄』



永山エミ様『ガニラン』



折小野良子様『パズル』

新入職員の紹介 宜しくお願い致します。



事務員 瀬戸 玲乃



シヨートステイ和
相談員 下園 倫子



支援員 久保田 葉子

入所者の皆様が敬老祝賀会の時に見せてくださったすばらしい笑顔を必ず来年も見られることを熱望すると同時に、職員としての責任の重さに身が引き締まる思いである。
 生活相談員 平山英太郎

【編集後記】
 一連のコロナ騒動を見聞きするにつけ、強く思うことがあります。これからの世の中は、今までは確実に変化していくのではないかと。豊かさばかりを追求するのではなく、ウイルス感染をはじめとする人間を取り巻くさまざまな問題(経済格差、環境問題、自然災害ほか)とうまく折り合いをつけながらやっていくしかないかと。
 同時に、足元をみつめて、特に、健康管理に関する基本的なことを愚直に守っていかねばならない。手洗い、うがい、消毒、換気、規則正しい生活と栄養、休養、睡眠どれも頭では分かったつもりでも、自分分はなかなかいい加減であったと反省している。